

# みどりとともに

第 20 号

2010 年 8 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸1丁目3番2号

林業会館3階



## も く じ

平成21年度における森林湖沼環境税活用事業の実績について……………	2~3
鉾田市の森林整備について……………	4
今こそ安全安心な茨城県産原木しいたけを……………	5
協会だより……………	6~7
平成22年度通常総会の開催	
平成21年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール表彰	
協会の主な動き……………	8



# 平成21年度における森林湖沼環境税 活用事業の実績について

茨城県農林水産部林政課  
森づくり推進室

森林は、木材の供給だけでなく、水源のかん養や県土の保全など、県民生活を広く支える機能をはじめ、地球温暖化の防止や保健・レクリエーションの場の提供など、多くの機能を持っています。しかし、木材価格の低迷による林業採算性の悪化、林業就業者の減少・高齢化などにより、間伐などの手入れが行き届かない森林が増え、平成18年度の調査では県内で緊急に間伐を必要としている森林は約1万4千ヘクタールあるほか、県南西部を中心に広がる平地林は、都市化の進展などにより減少と荒廃が進んでおり、森林の持つ機能が十分に発揮できなくなることが危惧されています。



間伐後の森林

このような状況を踏まえ、県では平成20年4月から森林湖沼環境税を導入し、この財源を活用して「①森林環境保全のための適正な森林整備の推進」、「②いばらき木づかい運動の推進」、「③県民協働による森林づくりの推進」を3つの柱として、森林の保全・整備のための施策を重点的に行っています。ここで、平成21年度の実績について紹介します。

## ①森林環境保全のための適正な森林整備の推進

緊急に間伐を行う必要があると判定された森林のうち、水源かん養機能または山地災害防止機能が高い森林を対象として森林の持つ公益的機能を回復させるための間伐作業に助成したほか、効率的に間伐を実施するための作業道の開設や、間伐推進員による間伐実施のための調整等に対する助成を行いました。

また、県民生活に身近な平地林・里山林の整備に対する助成や、林業労働力を補完するための補助作業員の養成、高性能林業機械の導入に対する助成、高性能林業機械のレンタル経費に対する助成を行いました。さらに、原木市場・木材乾燥施設の整備に助成を行いました。



導入した高性能林業機械

### <実績>

・間伐実施面積	1,326ha
・作業道開設延長	48,352m
・間伐推進員配置人数	2,999人日
・平地林・里山林整備面積	201ha
・補助作業員養成人数	55人
・高性能林業機械の導入台数	6台
・高性能林業機械のレンタル月数	35か月分
・原木市場・木材乾燥施設の整備	2施設

## ②いばらき木づかい運動の推進

県産材の需要拡大が森林の整備や森林の持つ公益的機能の高度発揮につながることから、県産材を使用した木造住宅の建築に対する助成や、県民が木に触れる機会を創出するための公共施設の木造化・木質化などを行いました。



市町村等施設の木造化・木質化

### <実績>

- ・新築木造住宅建築に対する助成 150 戸
- ・県施設の木造化・木質化 2 箇所
- ・市町村施設の木造化・木質化に対する助成 6 箇所
- ・小学校、幼稚園等への木製品の導入に対する助成 8 施設

## ③県民協働による森林づくりの推進

森林の働きや重要性、林業の果たす役割、木づかいが森林整備につながること、森林湖沼環境税導入の意義や用途についての普及啓発、情報提供などを行うとともに、子どもたちが身近なところで自然観察や体験活動ができる場所の整備や、小学生と保護者を対象とした治山ダム等の現場見学や測量等の体験活動を開催しました。

### <実績>

- ・パンフレット作成及び配布 20,000 部
- ・いばらき森林(もり)の感謝祭の開催  
来場者数 約 5,400 人

- ・いばらき木づかい運動街頭広報活動の開催 2 箇所
- ・森林づくりなどの活動を行う団体に対する助成 30 団体(参加者延べ 6,859 人)
- ・子どもの森の整備などに対する助成 12 校
- ・小学生と保護者を対象とした現場見学の開催  
参加者数 443 人(応募者数 639 人)



森林湖沼環境税のマスコット  
「ハッスル黄門」

### 【平成 22 年度の主な取り組み】

- 間伐及び平地林・里山林の整備  
森林の持つ機能の回復を図るため、引き続き緊急に間伐が必要な森林における間伐や、平地林・里山林の整備を促進します。
- 県産材流通・加工体制の整備  
県産材の利用を促進し、間伐等の森林整備の推進を図るため、林内に放置されている間伐材を有効活用するラミナ製材工場の整備を促進します。

町から  
村から

## 銚田市の森林整備について

銚田市産業経済部産業経済課

銚田市は、平成17年10月11日に旧銚田町、旧旭村、旧大洋村の合併により誕生しました。鹿島灘に面した本市は、茨城県の東南部、鹿行地域の北部に位置し、北浦、澗沼に接し、市内を流れる巴川や銚田川、大谷川などの河川流域には水田が広がり、鹿島灘沿いに鹿島台地の丘陵部が形成されており、豊かな自然環境に恵まれています。

基幹産業は温かな気候を活かした農業であり、主に施設園芸作物を中心に栽培しており、野菜、果樹など様々な品目が生産される全国有数の農業地帯となっています。特に、メロンやイチゴ、トマト、甘藷などは全国有数の生産地です。

本市の総面積は、20,390haであり、そのうち森林面積は4,335haで林野率21.26%と茨城県平均を大きく下回っています。

本市は、太平洋に面しており、海岸線に沿って松林が広がっています。その松林は、市街地や田畑を風潮害から守り、二酸化炭素の吸収源となるなど、公益的機能をもつ銚田のまちづくりには欠かせない重要な松林です。また、市内全域が農業地帯となっておりますが、その合間に点在している平地林地帯があり、周辺住民の身近な憩いの場として、またはレクリエーション活動や自然との触れあいの場として活用していくことが望まれております。

本市の森林整備については、海岸地区の松林を守るため、松くい虫防除の薬剤散布及び被害木の伐倒駆除を毎年行っております。そのとき伐採した枯松を再利用した園路チップ舗装を鹿



松くい虫被害の状況

島灘海浜公園内で実施しており環境にも配慮しています。

また、平地林については、市内の方が森林整備を行いやすいように森林整備機械器具の貸出も行っており、雑草などで荒れている林が毎年数haずつですが整備してきれいな林に再生しています。

これらの事業を通して、良好な自然環境保全に努めてまいります。



園路チップ舗装  
(茨城県立鹿島灘海浜公園)

# 今こそ安心安全な茨城県産原木しいたけを

## 茨城県椎茸農業協同組合

### 1.しいたけの歴史

乾しいたけは鎌倉時代（1200年頃）曹洞宗の開祖道元によって書かれた「典座経典」と言う書物の中に中国ですでに食されていたと書かれている。それは日本産の乾しいたけで、日本ではそれ以前に食べられていたことに違いない。当時は今のように機械干しではなく天日干しだったようであるが、そのことがかえてビタミンD（カルシウムを作るのに必須な要素）を作っていたことになるので、医食同源の中国では薬膳料理だったのだろう。

### 2.しいたけ栽培

諸説は色々あるが、今の大分県ないしは静岡県で栽培が始まったものと思われる。もともと自然に出ていたで、あろうしいたけは木から出るもので（枯れ木に菌が繁殖し不朽される。そのことで木を土に返す。）きのこ類が自然環境の中でリサイクルの大きな要因になっていることがわかっている。これほど理にかなった栽培法はほかの作物には見られない。その広葉樹（なら、くぬぎ）は人が伐採することによって18年～20年で萌芽更新をくりかえすのです。



しいたけ原木の伏込状況

### 3.茨城のしいたけ

茨城県椎茸農業協同組合が発足したのは昭和

47年である。当時は、きのこはめずらしく、しかも木から栽培ができる（このことは種菌メーカーの画期的な方法による。）とあって珍重され高値で売られていました。農産物ではなかったため専門的な椎茸協会ができ、のちに農業法人になったわけです。

今では野菜扱いであるが本来、特用林産物である。現在、茨城県は原木栽培生しいたけで全国第2位、乾しいたけも近年出荷量増加傾向にあります。

### 4.今後のしいたけ

中国産菌床しいたけがかなりスーパー量販店に並んでましたが、今は国内産が主流になってきています。ただ残念なことは原木栽培が少ないということです。工場施設で作られる菌床しいたけと違い原木栽培は手間がかかり広い場所も必要なことで一から起業するのが難しいのです。

現在、茨城県林政課の指導のもと「特用林産物担い手育成事業」により3名を雇用し担い手の研修にあたっているところです。今後ますます原木しいたけは本物の味、農薬を使わない栽培方法など見直されることと思います。

当組合も県、各林業団体の皆様と共に力をつくして参る所存です。今後ともよろしく願い申し上げます。

#### 【お問い合わせ先】

茨城県椎茸農業協同組合  
茨城県ひたちなか市田彦1220番地8  
電話 029-271-3880 担当 飯村

## 協会だより

### 1.平成22年度通常総会の開催

平成22年5月28日(金)、水戸市内の茨城県産業会館において、(会員数23名のうち委任状出席を含め21名が出席)、第31回通常総会を開催いたしました。

当日は、大久保太一副会長(常陸太田市長)の開会のことばに続き、山口伸樹会長(笠間市長)より「政権交代後、公共事業は一変し、われわれ協会を取り巻く環境も一段と厳しいものとなっているが、いつ起こるか分からない自然災害に備えて、県民の安全・安心を確保する治山対策や適正な森林整備・保全の基盤となる林道等路網の整備など各事業が円滑に推進するよう努めるとともに、公益法人制度改革への対応についても、関係機関と密接な連携のもと、適切に対応して参りたい。」とあいさつがありました。



挨拶する山口会長

総会には、来賓として柴田眞幸県農林水産部次長、石川多聞県議会議員・県林業協会長、瀧川忠昭(社)日本治山治水協会事業部長をはじめ、県の関係幹部職員や各関係団体代表の方々など多数のご臨席を頂き、盛会のうちに開催されました。

また、議事の前には、平成21年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール入賞者の表彰が行われました。

議案については、山口会長を議長に選出して審議され、議案第1号から第6号まで、原案のとおり可決承認されました。

議案第7号補欠役員の選任については、欠員となっていました監事に久保田健一郎石岡市長が選任されました。

〈提出議案〉

議案第1号 平成21年度事業報告並びに収支決算について

議案第2号 平成22年度事業計画並びに収支予算(案)について

議案第3号 平成22年度会費の賦課及び徴収について

議案第4号 平成22年度借入金の最高限度額の決定について

議案第5号 平成22年度役員報酬の決定について

議案第6号 平成23年度 暫定予算について

議案第7号 補欠役員の選任について



祝辞を述べる柴田県農林水産部次長

## 2. 平成21年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール表彰

### ◇第32回 林道維持管理コンクール

森林の整備、山村の活性化に寄与する林道について、適正な維持管理を推進し、林道機能の保全と通行の安全確保を目的とし、県の協力を得てコンクールを実施しました。

入賞路線等は、次のとおりです。

区分	管理者	路線名
知事賞	桜川市	久原富谷線
農林水産部長賞	大子町	大塩後沢線
治山林道協会会長賞	笠間市	今泉吾国線
ク	常陸大宮市	ヤブ沢線

\*最近、コンクール参加路線が少なくなっておりますので、積極的に参加されますようお願いいたします。



知事賞を受賞した 桜川市

### ◇第10回治山・林道木材使用工事コンクール

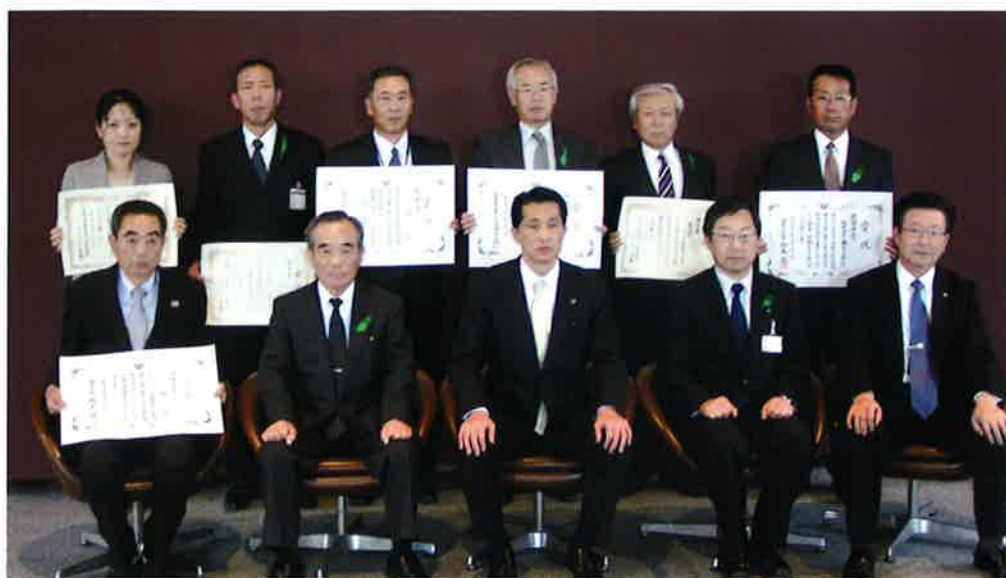
民有林治山・林道工事における木材の使用を促進するとともに、技術の向上を目的とし、県の協力を得てコンクールを実施しました。

入賞者等は、次のとおりです。

区分	事業名	請負業者	備考
知事賞	奥久慈グリーンライン林道第6号水根持方線	(株)藤田工務店 大子町	林道工事
農林水産部長賞	保安林改良第17号	茨城県森林組合連合会 水戸市	治山工事
治山林道協会会長賞	保安林改良第1号	(株)いづき森林サービス 常陸太田市	治山工事



知事賞を受賞した (株)藤田工務店



大久保副会長、山口会長、柴田県農林水産部次長、阿久津監事とコンクール受賞者の方々

○ 協会の主な動き ○ 1月～6月

- ▲ 1月7日  
明日の茨城づくりをめざす新春の集い(水戸市)
- 1月14日  
個人情報保護法に関する説明会(水戸市)
- 1月15日  
(社)茨城県林業協会幹事会(水戸市)
- 1月20日  
緑の雇用担い手対策事業集合研修(那珂市)
- 1月22日  
林業団体合同新年の集い(水戸市)
- 1月26日  
(社)茨城県林業協会会長及び副会長と幹事との意見交換会(水戸市)
- 1月28日  
全国治山林道協会会長会議(東京都)  
民有林振興会セミナー(東京都)
- 1月29日  
公益法人改革セミナー(東京都)
- ▲ 2月9日  
茨城県農林水産振興協議会セミナー(水戸市)
- 2月16日～17日  
治山林道コンサルタント技術研究会(東京都)
- 2月24日  
茨城県林業種苗協同組合通常総会(水戸市)
- ▲ 3月1日  
茨城県治山設計技術等細部基準の改訂に係る打合せ会議(常陸太田市)
- 3月23日  
平成21年度 第3回理事会(水戸市)
- 3月25日  
(社)茨城県緑化推進機構理事会・通常総会(水戸市)
- ▲ 4月7日  
都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会通常総会・意見交換会(東京都)
- 4月27日  
(社)茨城県林業協会幹事会(水戸市)
- ▲ 5月6日  
監事会(水戸市)
- 5月13日  
(社)茨城県林業協会理事会(水戸市)
- 5月14日  
5月期公益法人定例講座(東京都)
- 5月21日  
(社)茨城県林業協会通常総会(水戸市)
- 5月24日  
茨城県森林組合連合会通常総会(水戸市)
- 5月26日  
(社)茨城県緑化推進機構理事会・通常総会(水戸市)

- 5月27日  
茨城県木材協同組合連合会通常総会(水戸市)
- 5月28日  
平成22年度 第1回理事会・第31回通常総会(水戸市)
- 5月31日  
茨城県林業土木事業協同組合通常総会(水戸市)
- ▲ 6月9日  
公益法人制度改革対応実務研修(水戸市)
- 6月16日  
公益法人改革に係る情報及び意見交換(東京都)
- 6月21日  
茨城県農林水産振興協議会総会(水戸市)
- 6月29日  
(社)茨城県林業協会幹事会(水戸市)
- 6月30日～7月1日  
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会第31回通常総会 (山梨県)

今後の予定

- 8月5日  
公益法人改革対応検討委員会(9月・11月予定)
- 8月25日  
民有林治山林道関係 コンクール審査委員会
- 8月26日  
日本治山治水協会総会
- 8月30日  
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会  
要望活動・常勤役職員会議
- 9月14日  
全国治山林道協会会長会議
- 10月3日  
全国育樹祭
- 11月16日  
日本林道協会総会・治山林道のつどい

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号

林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「高笹山の広葉樹林」

(大子町中郷)

佐藤征男氏撮影